

第8回カンマームジークアカデミー in 呉 修了演奏会

2013年以来、毎年3月に呉信用金庫ホール（呉市文化ホール）で開催される当アカデミーは、室内楽に特化したセミナーで、今回で8回目となります。小学生から、すでに演奏家として活躍中の方々まで、日本各地からの参加があり、大変ご好評いただいております。

修了演奏会では、4日に渡る個人・アンサンブルの徹底したレッスンの成果を発表します。各グループには、必ず講師が加わり、本番での空気・響きを共に作り上げます。

3月28日(土) 13:30 開演 (19:30 終演予定)

全席自由
《税込》

一般 1,000円 高校生以下無料

くれフレンドリー友の会会員は10%OFF チケット発売：1月19日(日)

※ 未就学児童のご入場はお断りいたします。

販売場所 呉信用金庫ホール、公声堂、カワイ広島、エディオン広島本店プレイガイド



室内楽セミナー聴講（有料）のご案内

呉信用金庫ホールでのアカデミー開催期間中（3月24日～27日）の室内楽セミナー（レッスン 10:00～20:00）は聴講が可能です。

聴講料は一日1,000円です。

直接セミナー会場受付にてお支払ください。

予約不要、コマ数制限なし。

スケジュールはWEB

(<https://kammermusik2013.jimdo.com/>) でご確認ください。



講師アーティストプロフィール

松本 和将 Piano

岡山県倉敷市出身。第67回日本音楽コンクールに優勝し、併せて増沢賞はじめ全賞を受賞。プソニ国際ピアノコンクール第4位、エリーザベト王妃国際音楽コンクール第5位。2006年、ベートーヴェン3大ピアノソナタで全国ツアー、2009年より3年連続で、オールショパンプログラム全国ツアーを行い、2016年よりリサイタルシリーズ「松本和将の世界音楽遺産」を開始。読売日響、新日本フィルなど国内主要オーケストラと共演。前橋汀子、宮本文昭など多くのアーティストからの信頼を得、上里はな子・向井航とともにピアノトリオも組んでいる。これまでにレコード芸術の特選盤を含む21枚のCDをリリース。

下田 望 Piano

広島県呉市出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学音楽学部卒業。第13回教育連盟ピアノオーディション全国大会入賞。入賞者演奏会に出演。第21回ビティナ・ピアノコンペティション全国大会F級にて、ベスト10賞受賞。在学中より、NHK・FMリサイタルに伴奏者として数回出演。今までにイェルク・デムス、ジャック・ルヴィエなどのマスタークラス受講。現在はオホーツク管弦楽セミナーなどの公式伴奏者、セミナーなどの演奏員、ソロ、室内楽をはじめとして、幅広く多方面で活躍している。2010年より東京藝術大学音楽学部管打楽科非常勤講師（伴奏助手）。

坂口 弦太郎 Viola

大阪府堺市出身。3歳よりヴァイオリンを始め17歳でヴィオラに転向し、東京藝術大学音楽学部器楽科ヴァイオリン専攻、同大学院音楽研究科修士課程器楽科室内楽専攻（ヴァイオリンとピアノの二重奏）修了。現在、NHK交響楽団ヴァイオリン奏者。第9回日本室内楽コンクール第3位入賞。（原田恭子：pfとの二重奏）奨励賞受賞。オーケストラの他に「アベルト弦楽四重奏団」、「N響メンバーによる室内楽団」のメンバーとして、また様々なプロオーケストラへの客演首席、TV、ラジオ出演、アーティストのサポート録音などジャンルの垣根を超えての演奏活動、ヴァイオリンの伝道師としてその魅力の啓発活動も行なっている。

向井 航 Cello

北海道札幌市出身。東京藝術大学音楽学部附属音楽高等学校、同大学、ハンガリー国立リスト音楽院に学ぶ。2007年、関西フィルハーモニー管弦楽団特別契約首席チェロ奏者に就任。2008、09年には世界的ヴァイオリニスト、オーギュスタン・デュメイ氏と室内楽でたびたび共演する。ソリストとして1999年に札幌交響楽団とハイデンのチェロ協奏曲 C-dur を、2008年には関西フィルハーモニー管弦楽団とブラームスの二重協奏曲を共演。

マルモ ササキ Cello

バドヴァ国立音楽院、ローザンヌ音楽院、ベルリン国立芸大卒。W.ベントヒャー、D.ゲリンガスに師事。ジェヴォア国際コンクール他、多数優勝。ローザンヌ室内管、バーデン＝バーデン・フィル等と、ソリストとして協演し高い評価を得る。ベルリン国立歌劇場管弦楽団に初のアジア人永久正団員として6年間在籍、フォアシュペラーも務める。CD「チェロペラ～劇場の思い出」をリリース、白山 開山1300年記念CD作成に参加。コパケンとその仲間たちオーケストラ（客演首席奏者）他、ソロ及び室内楽奏者として世界各地で演奏活動を行っている。

第8回 カンマームジーク アカデミー in 呉

上里 はな子 Violin

2歳よりヴァイオリンを始め、全日本学生音楽コンクール小中学生の部全国1位。1990年豊橋市の文化振興特別賞を受賞。1995年ウィーン国立音楽大学に首席で入学。1997年バガニーニ国際ヴァイオリンコンクール第5位。2001年ヤッシャ・ハイフェッツ国際ヴァイオリンコンクール第2位。帰国後はリサイタルや室内楽と演奏等で全国を飛び回るかわら、後進の指導にも力を入れている。これまでにトリオ、デュオを含む8枚のCDをリリース。

島田 真千子 Violin

東京藝術大学附属音楽高校を経て東京藝術大学を首席で卒業後、6年間ドイツにて研鑽を積み2005年デトモルト音楽大学院を最優秀で修了。これまで日本音楽コンクール第2位、日本モーツァルト音楽コンクール第1位、バガニーニ国際コンクールやJ.S.バッハ国際コンクールで入賞、愛知県芸術文化選奨文化賞を受賞。ソリストとして各地でのリサイタルやオーケストラと共演する他、サイトウキネンオーケストラ、ヴェリタス弦楽四重奏のメンバーとしても活躍。現在、水戸室内管弦楽団メンバーおよびセントラル愛知交響楽団ソロコンサートマスター。NPO法人イエロー・エンジェルよりG.B.ガダニーニ(1769年)を貸与されている。

漆原 啓子 Violin (特別講師)

1981年東京藝術大学付属高校在学中に、第8回ヴィニャフスキ国際コンクールに於いて最年少18歳、日本人初の優勝と6つの副賞を受賞した。その翌年、東京藝術大学入学と同時に本格的演奏活動を開始。1986年、ハレー・ストリング・クアルテットとして民音コンクール室内楽部門で優勝並びに高藤秀雄賞を受賞。2016年デビュー35周年を迎えた。これまで、国内外での演奏旅行、TV出演、海外主要音楽祭、マスタークラスなどに多数出演。また、V.スビヴァコフ、E.ルカーチ、J.ピエロフラーヴェク等の指揮者や、ハンガリー国立響、スロヴァキア・フィル、ウィーン放送響等のオーケストラと共演し、賛辞を浴びた。日本国内の主要オーケストラとの共演のほか、リサイタル、室内楽でも高い評価を得ている。CDは数多くリリースしており、J.S.バッハの無伴奏CD（日本アコースティックレコーズ）がレコード芸術特選盤に選ばれた。また、漆原朝子との録音「無伴奏ヴァイオリン・デュオ」（日本アコースティックレコーズ）は平成26年度文化庁芸術祭レコード部門優秀賞を受賞。同デュオは、2017年2月に東京・浜離宮朝日ホールにて公演を行い、大絶賛された。ヤコブ・ロイシュナー氏と「モーツァルト：ピアノとヴァイオリンのための作品全集」をリリースする。常に第一線で活躍を続け、安定した高水準の演奏は音楽ファンのみならず、指揮者、オーケストラ・メンバー等の音楽家の間でも非常に高い信頼を得ている。現在、国立音楽大学客員教授、桐朋学園大学特任教授。